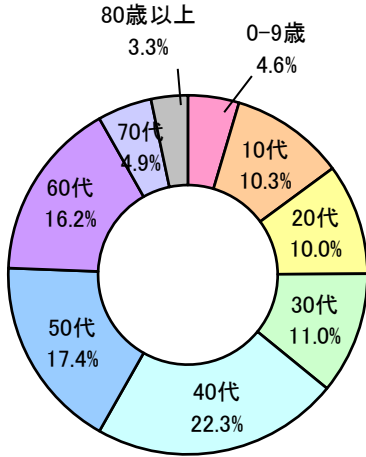


特別展「京都 大報恩寺 快慶・定慶のみほとけ」

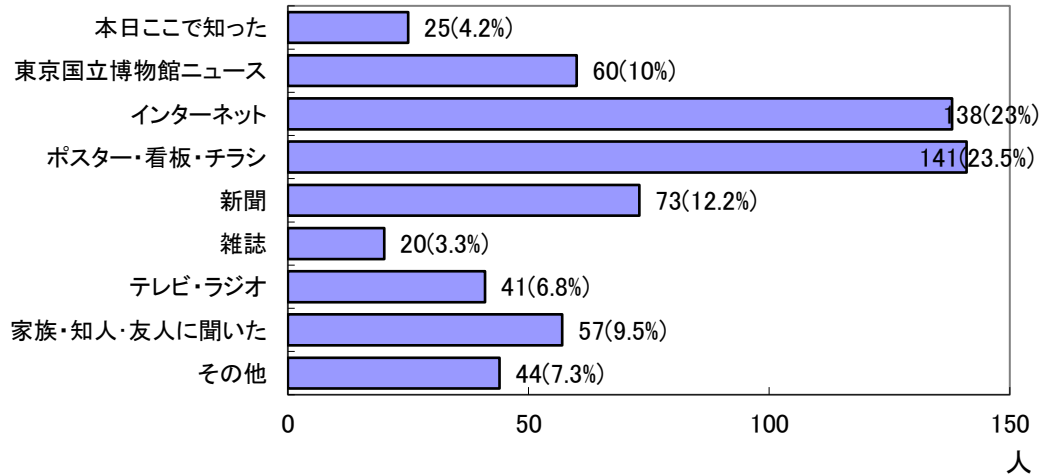
アンケート集計結果

開催期間：平成30年9月2日（火）～平成30年12月9日（日）（60日間）
 回答者数：397人（総入館者数：197,004人 アンケート回収率：0.2%）

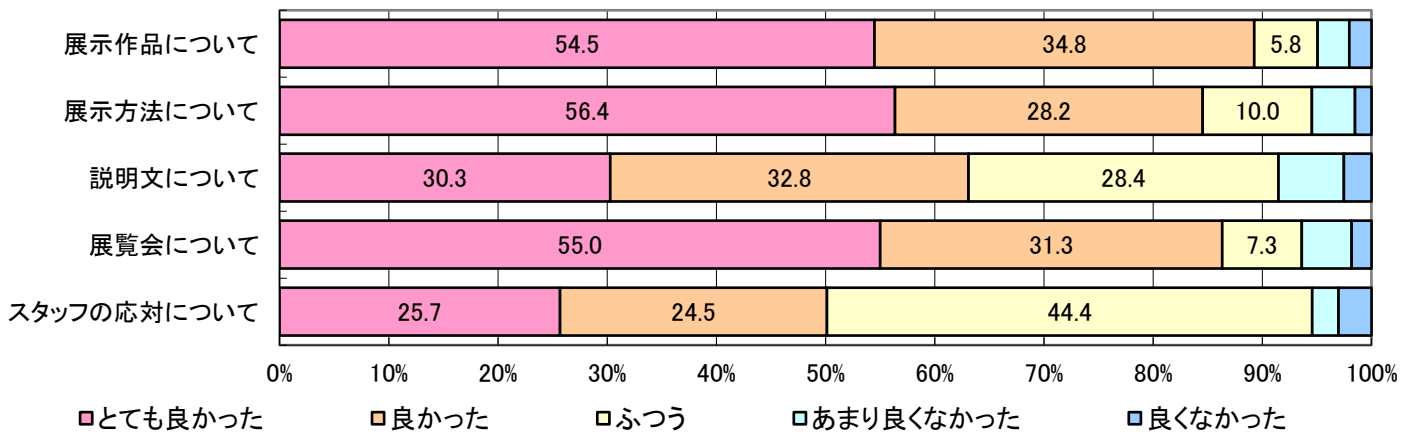
①アンケート回答年齢層



②認知経路（複数回答）



③展示に関する満足度



④主な意見・感想

- ・ 十大弟子像を360度何処からも見られる展示は非常に満足だった。
- ・ 展示スペースに余裕があり、ゆったり見ることができた。
- ・ 光背をじっくり見られる機会がよかった。
- ・ 大報恩寺の説明からメインの仏像の展示まで、流れがわかりやすかった。

注：上記数字は以下の通り

	あまり良くなかった	良くなかった
展示作品	2.9	2.0
展示方法	3.9	1.5
説明文	6.0	2.5
展覧会	4.6	1.8
スタッフの対応	2.4	3.0

(%)

京都市上京区に所在する大報恩寺は、鎌倉時代初期に開創された古刹です。釈迦如来坐像をご本尊とし、千本釈迦堂の通称で親しまれています。大報恩寺の秘仏本尊で、快慶の弟子、行快作の釈迦如来坐像、快慶作の十大弟子立像、運慶の弟子で、行快とほぼ同じ世代である肥後定慶作の六観音菩薩像など、大報恩寺に伝わる鎌倉彫刻の名品の数々を展示した本展には19万人を超える方々にご覧いただきました。

アンケートの結果、展覧会に対して86%の方々から「とても良かった」「良かった」との好意的な意見をいただくことが出来ました。その一方で「撮影可能な範囲がわかりにくい」、「展示作品とキャプションが離れすぎている」などのご意見も寄せられました。

今後来館者の皆様よりお寄せいただきましたご意見・ご感想を参考に、観覧環境のより一層の充実に努めて参ります。